

令和5年度学校自己評価システムシート（県立芸術総合高等学校）

目指す学校像	学芸を共に高め合い、芸術文化を担う人材を育成する高校
--------	----------------------------

重点目標	1 芸術的表現力と共通教科の学力向上を目指す意力の育成 2 芸術文化を担う人材としての人間性と社会性の獲得 3 芸術系進学重視型専門高校としての期待に応える進路実績の確保 4 芸術文化の発信による地域社会の活力づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	7名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(2月8日現在)		
年度目標					年度評価(2月8日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	■現状 ・県内唯一の芸術学科のみの専門高校として、第一線で活躍する外部講師や関係機関等と連携し、高度な芸術教育を展開し、生徒一人一人の個性と能力を最大限に引き出すための教育活動を推進している。 ・共通教科(数学・英語)の少人数授業の実施や、補講、課題等によるきめ細やかな学習指導を展開している。 ■課題 ・芸術専門科目と共通教科科目のいずれも意欲的に取り組む生徒の育成と、個々の学習状況に応じた学習活動の研究を進める。 ・新教育課程での評価方法の検証を継続するとともに、学力向上に向けた取組を推進する。	新学習指導要領が目指す資質・能力の獲得に向けた授業の工夫・改善 主体的な学習及び学力向上に向けた取組の推進	①生徒の「主体的・対話的で深い学び」を深化させた授業を実践する。 ②教員間で授業見学や研究協議等を実践する。 ③各教科・科目の観点別評価を検証する。	①協働的な学びを通じた生徒の変容が確認できたか。 ②授業の工夫・改善を行うことができたか。 ③各教科・科目の観点別評価方法を検証し、向上させることができたか。	①②新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業実践の工夫に取り組んだ。アンケート調査では、生徒の8割以上が主体的に取り組んでいると回答した。 ③観点別評価については、校内で内規や評価方法を検証し、向上させることができた。また、専門学科についても、各専門授業における観点別評価を定着させることができた。	A	・観点別評価については、効果的な教育活動を展開しながら引き続き必要に応じて随時改善を検討したい。 ・朝自習をタブレットで行うなど、一人一台端末を活用し、自学自習をより一層促進する取組を研究したい。
2	■現状 ・多くの生徒・保護者が学校に満足しており、充実した学校生活を送っている。 ・文化祭や体育祭等の学校行事や各学科の教育活動において、多くの生徒が主体的に判断し、行動している。 ■課題 ・多くの生徒が満足している傾向を維持するための方策を検討する。 ・表現活動の充実にあたり、生徒の心のケアを含めた生徒指導の共通理解を図る。 ・4学科の交流や合同作品の作成、地域との交流を進める。	芸術文化を担う人材としての意識及び行動の向上	①「芸術文化を担う人材」の育成を軸とした授業や学科活動、部活動を実践する。 ②全教職員の共通認識に基づく服装指導や心のケアなどを実践し、社会的なマナー・ルールを尊重する態度を育成する。 ③学科間の情報共有をより進めるとともに、4学科連携した教育活動を行う。	①芸術文化を担う人材像のイメージが学校内外で共有されたか。 ②服装指導や心のケアを含めた生徒指導により、社会的なマナー・ルールを尊重する態度を育成できたか。 ③4学科連携した効果的な教育活動を行うことができたか。	①所沢市民文化センター・まちづくりセンター・所沢市の連携事業など、地域での活動を積極的に展開し、本校の芸術文化を担う人材像を学校外に発信することができた。 ②生徒指導部との連携を図り、服装指導や遅刻指導、朝の挨拶運動、生徒指導講演会などをおして社会的なマナー・ルールを尊重する態度の改善に努めた。 ③教務部を中心に各学科の意見を取り入れながら調整し、学校行事など創造的な活動ができるよう努めた。また、年次会を定例で実施して生徒の情報共有を行い、4学科の状況を共有しながら教育活動を展開した。	B	・心のケアの充実の必要は出まな ・年々高まっており、社会的成長を図る取組を進めていきたい。
3	■現状 ・東京藝術大学をはじめとする芸術系大学等への進学希望者が大多数であり、芸術系の私大を中心に、9割以上の生徒が現役で進学している。 ・生徒の多様な進路希望に対応するための環境を整えている。 ■課題 ・大学入試等の状況を引き続き情報収集し、組織的な進路指導を進める。 ・1年次から長期的な視野で進路指導に当たる。	進路実現を支援する取組の更なる推進	①学科・年次が連携して全職員による進路指導を行う。 ②芸術系大学への進学のための実技試験対策や受験科目の補習・補講等を充実させる。 ③「高校生のための学びの基礎診断」や卒業生・外部を活用した進路指導を行う。	①補習や課題履修、自学自習等の取組を進路指導として連携させて実施できたか。 ②生徒のニーズにあった補習・補講等ができたか。 ③「高校生のための学びの基礎診断」や、卒業生・外部を活用した進路指導等を実施できたか。	①②夏期補習は、生徒が希望の科目を受講できるようにあらかじめ枠を決めて調整し、18講座を開講した。また、定期考査の素点振り返りを実施し、授業の定着度の確認を行った。 ②学科単位で希望者を対象とした実技試験対策説明会を実施するなど、生徒のニーズに合わせた補習・補講を展開した。 ③学びの基礎診断テスト前の事前学習や、弱点克服のワーク学習を実施し、基礎学力の定着を図った。また、教員向け研修会も実施し、各教科の授業の工夫・改善につながった。各学科、専門分野において「分野別進路説明会」や卒業生から在校生へ進路についてのアドバイスをもらう「進路体験談会」などを行い、早い段階から上級学校への意識付けをし、学習意欲を更に向上させるように努めた。	A	・オンライン入試が広まりつつあり、更なる対応が必要となる。 ・時代の変化に対応した進路指導の在り方について、引き続き検討し、情報を共有しながら生徒への指導に努めたい。
4	■現状 ・アウトリーチ活動の定着とともに、地域社会への学校の魅力のさらなる浸透をめざしている。 ・意欲的、計画的に生徒募集に取り組んでおり、一度来校した生徒がリピーターとなり、志願者希望に繋がっている。 ■課題 ・県全体の生徒募集状況や今後の中学生数の減少を踏まえ、本校の生徒募集について学校全体で検討する。 ・感染対策を踏まえながら、生徒による地域社会への芸術的活動の推進等、更なる生徒募集の取組を進める。	志願者倍率の向上に向けた芸術文化の発信	①昨年度の校外活動や生徒募集方法等を踏まえ、学校の魅力を最大限に伝える学校説明会や体験入学を実施する。 ②各学科の生徒募集のデータ分析を引き続き進め、今後の生徒募集の在り方を再検討し、改善する。 ③生徒の活動を学校内外へ積極的に発信するとともに、全職員による生徒募集に取り組む。	①学校の魅力を学校説明会や体験入学で中学生に伝えることができたか。 ②各学科のデータ分析をさらに深化させ、学校全体で検討し、改善が進められたか。 ③志願者増につなげることができたか。	①主にホームページ及びインスタグラム上での広報を軸に、各学科の行事を積極的に記事として掲載して、本校の魅力を中学生や保護者に伝える効果的な広報活動を展開することができた。 ②生徒募集企画室を中心に今後の生徒募集に向けたデータ分析を進めた。 ③生徒募集企画室を中心に全職員で生徒募集に取り組み、本校への志願者は一部で増加傾向も見られるが、定員確保に向けて更なる検討が必要である。	B	・今後とも、社会情勢に対応した広報活動を行うとともに、本校知名度・認知度を高めていくための手段や方法を検討し、生徒募集定員の確保を実現したい。 ・学校行事や学科公演などについて、次年度に向けてより積極的にアウトリーチできる機会を創出する手立てを考えていきたい。

学校関係者評価		
実施日 令和6年3月18日		

学校関係者からの意見・要望・評価等

<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末の効果的な活用や、自学自習の推進を期待している。 生徒・保護者ともに満足度も高く、達成度も高く安心した。今後も各教科の連携を進めてほしい。 本校での学習をとおして様々な力がつみたとの感想があり、先生方の指導や生徒の学習の成果が表れていると感じた。継続して取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事やレクリエーションなどにおいて、学科間交流は活発になってきていると感じる。発表や公演など他学科の生徒がもっと見学できるとさらによい。 他学科の校外での催しなどの情報がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 国立大学をはじめ、一般受験で受験する生徒に対しての補習、補講など一般受験に対応できる体制づくりを今後も継続してほしい。 専門教科の課題は大変充実している反面、一般教科の課題の不足を感じるため、さらなる充実を期待したい。 英検を学校で受験できるようにしてほしい。アンケートなどで、希望を把握してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校や中学校への宣伝を行うと、より早い段階から、芸術総合高校のよさをアピールできると感じる。 インスタグラムは宣伝効果として効果はあると思う。ただ、主に芸術に興味のある方が閲覧するため、生徒が地元の小・中学校に行って学校紹介や発表などを行うと、親近感が湧いてさらに効果があると思う。
--	--	--	---